

[成果情報名]年内出荷に適した早生ポンカン「KP-2」

[要約]ガンマ線照射した「太田ポンカン」の珠心胚実生から育成した「KP-2」は、「太田ポンカン」に比べ糖度および酸含量には差はなく、着色が早いことから年内出荷に適した早生ポンカンである。

[キーワード]ポンカン、早生、着色、年内

[担当]鹿児島県農業開発総合センター・果樹部・常緑果樹研究室

[代表連絡先]電話 099-245-1138

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

カンキツ生産では、年内に出荷できる品目や品種の導入は経営上のメリットが大きく、鹿児島県では年内出荷可能な品目としてポンカンがあり、全国でも有数の産地となっている。しかし、近年の地球温暖化に伴い、秋季の高温の影響による着色の遅れ等によって出荷が不安定な年がある。そこで、安定して年内出荷が可能な早生ポンカンの育成を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 育成経過

1999年11月に、「太田ポンカン」の種子にガンマ線を照射して育成した珠心胚実生から選抜した「KS-15」の果実から種子を取り出し、珠心胚実生を育成した。育成した実生は2001年4月にポンカンを中間台木として30個体を高接ぎし、2004～2008年の果実特性調査から、着色が早い個体番号「01-151」を選抜した。その後、系統番号「KP-2」として苗木による特性調査を行った結果、年内に収穫、出荷できる早生ポンカンであることが明らかとなった。

2. 樹勢は中～やや強、樹姿はやや直立する。枝梢にトゲは無く、葉面積は「太田ポンカン」よりやや大きい(表1, 図1)。
3. 12月上旬にはほとんどの果実が8分着色以上となり、完全着色は「太田ポンカン」より5日程度早い(表2)。
4. 果実重は180g程度、果形指数は131、糖度は10.4、酸含量は0.7g/100mlで「太田ポンカン」並みである(表3, 図1)。
5. 12月上旬での平均的な着色歩合は9.8で、果皮色はカラーチャート値7.5の橙色である。す上がりの発生は少ない(表3)。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：カンキツ生産者・鹿児島県内カンキツ産地
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等：鹿児島県内に5ha
3. その他：留意点等
 - (1) 「太田ポンカン」より着色が早いので、着色遅延が問題となる園地での同品種等からの改植対象として活用できる。
 - (2) 隔年結果を防ぐため、「太田ポンカン」に準じた着果管理が必要である。
 - (3) 完全着色期以降は、「太田ポンカン」程度に浮皮が発生することから、収穫の目安は樹内の約半分の果実が完全着色した時期とする。また、出荷は「太田ポンカン」に準じて予措した後に行う。
 - (4) 種苗供給については、穂木採取用のウイロイドフリー母樹を果樹部で育成しており、穂木の供給は2018年からである。

[具体的データ]

表1 「KP-2」の樹体特性

	樹勢	樹姿	枝梢のトゲ有無	葉面積 (cm ²)
KP-2	中～やや強	やや直立	無	11.9
太田ボンカン	中	やや直立	無	10.2

注) 種苗特性分類調査報告(農林水産省)を参照した。

表2 「KP-2」の着色歩合別割合

	調査個数	着色歩合別割合		
		7分以下	8～9分	完全着色
KP-2	304	9.1	45.1	45.8
太田ボンカン	547	47.7	39.5	12.8

注) 1. 2015年12月8日調査

2. 「KP-2」は樹齢7年生2樹、「太田ボンカン」は樹齢20年生以上2樹の収穫果実全果を調査



図1 「KP-2」の樹姿、着果状況および果実

表3 「KP-2」の果実品質

	果実重 (g)	果形指数	着色歩合	果皮色	す上がり程度	種子数 (個)	糖度 (° brix)	酸含量 (g/100ml)
KP-2	187	131	9.8	7.5	0.2	7.4	10.4	0.69
太田ボンカン	180	129	8.0	6.6	0.2	4.2	9.8	0.68

注) 1. 2014年12月9日、2015年12月2日、2016年12月8日に調査した3カ年の平均値

2. 2016年時に「KP-2」は樹齢8年生3樹、「太田ボンカン」は樹齢20年生以上2樹から平均的な大きさや着色の果実を1樹当たり5個を供試

3. 果形指数=横径÷縦径×100

4. 着色歩合は無着色：0～完全着色：10の11段階で判定

5. 果皮色は農林水産省果樹試験場オレンジ色系カラーチャートを用いて果頂部の濃色部を測定

6. す上がり程度は無：0～甚：3の4段階で判定

(鹿児島県農業開発総合センター)

予算区分：県単

研究機関：2013～2016年度

研究担当者：岩田浩二、中村一英、坂上陽美、松島健一、内野浩二、濱島朗子、久木田等、熊本 修

発表論文等：岩田ら(2016) 年内出荷に適した早生カンキツ KP-2 の特性、九州農業研究 第24号 29頁